

## 本時のねらい

・有権者として、選挙で投票する際に大切にすべき視点について、根拠を持って自分の考えを説明することができる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・比較・分析した結果を発表ノートに整理し、プレゼンテーションを行わせることで、情報を比較・分析する力や情報を相手に伝える力を養うことをめざす。  
・紙媒体・電子媒体の双方で資料を提示しておくことで、どちらの方が比較・分析しやすいかを生徒自身に判断させる力を養うとともに、個別最適な学びをめざす。

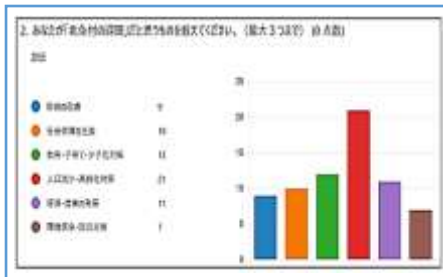
## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・SKYMENU Cloud（発表ノートによるプレゼンテーション） ・Microsoft Teams（資料配付）  
・Microsoft Forms（投票・アンケート） ・電卓アプリ（計算） ・Microsoft Power Point（提示資料）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	1. 本時の目標・流れを説明する。 ・前時で提案された各立候補者の選挙公約を確認する。 A 候補：税負担が軽い積極的な財政出動を掲げる B 候補：税負担が中程度で一般的な政策を掲げる C 候補：税負担が重い子育て・福祉政策の充実を掲げる ・ジグソー法で活動することを確認する。  2. 村政データの項目について説明する。 ・おさえておくべき語句を解説する。	・本時で使う資料はあらかじめ Microsoft Teams でも配付しておく。【写真 1】 ・Microsoft Power Point に活動の流れや語句の解説をまとめておくことで、導入の時間短縮、展開の時間確保になる。
展開 (30分)	3. 担当班に分かれて分析作業を行う。 ・学習班で立候補者 3 名のうち、どの立候補者について分析するかを分担し、担当班に分かれて分析作業にあたる。  4. 学習班に戻って分析結果のプレゼンテーションを行う。 ・担当班で分析した結果を元の学習班に戻って班員にプレゼンテーションする。【写真 2】【写真 3】	・発表ノートで、各立候補者の選挙公約の良い点と疑問点をまとめてさせることで、思考を整理するとともに、プレゼンテーション資料を作成できる。 ・「最低 1 つはデータを入れること」など条件設定をすることで、積極的なデータの比較・分析を促す。  ・発表ノートで各自が整理した内容を、グループワーク機能を使って共有することで、自分の端末ですべての立候補者の分析結果を閲覧することができる。
まとめ (10分)	5. 再度、村長選挙の投票を行う。 ・Microsoft Forms で再度、投票を行う。  6. 振り返りシートの記入	・Microsoft Forms を活用することで、投票だけでなく、「前時の投票行動と変化があったのか」、「なぜ変化したのか」など心境の変化なども素早く集計し、全体でも共有しやすくなる。

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】：資料「生徒に行ったアンケート」



【写真 2】：自身の考えをグループで共有



【写真 3】：生徒が作成した資料

## 児童生徒の反応や変容

・Microsoft Forms を活用することで、投票結果の集計を即時に行うことができた。また、生徒の意見をまとめて示したり、多くの人が記入したキーワードを一覧表示できたりと、情報共有ツールとして効果的に使用することができた。  
・手を挙げての発表や意見表明するのが苦手な生徒にとっては、このようなツールを活用する方が取り組みやすい。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・発表ノートはキーボードでも手書きでも文字入力が可能のため、個別最適な学びにつながる。また、グループワーク機能で容易に情報の共有ができる。  
・Microsoft Forms を活用することで、前時の学習内容も確認しやすく、心境の変化も比較しながら確認することができる。